

重機電子部品盗難相次ぐ

東海4県の採石場

愛知、岐阜、三重、静岡の東海4県の採石場で昨年夏以降、重機のコントローラーやモニタなど操作関係や油圧関係の電子部品が盗難される被害が続出している（写真）。メーカー問わずパワーシヨベルを中心に東海4県

で被害台数は40台以上のぼるとみられ、修理費用は機種によって差はあるものの1台数百万円から1千万円にのぼり、重機が稼働できず生産への影響も甚大なことから日本砕石協会東海地方本部は監視体制の強化など注

意喚起を行っている。ある愛知県の事業所は原石掘削・小割を行うパワーシヨベル合計6台の電子部品が複数回にわたりに盗難され、応急復旧にも数週間要するためレンタルのパワーシヨベルで急場をしのいだが、修理



期間は3カ月程度、修理費用は合計で3千万円かかるという。被害を受け

た事業所の特徴として広大かつ複数の進入路を有し、窃盗団は巧妙な手口で装置の取り外しに慣れ、狙いとして比較的新しい電子部品を同機種の中古車両に付け替え、海外に転売しているのではないかといふ声もある。被害を受けた事業所は警察に捜査の徹底を強く求めている。